

# 知ってた？ みんなが住むまちに

いまから60年以上前の日本はアメリカと戦争をしていました。その戦場は遠い太平洋上や南の島々でしたが、やがて私たちが住んでいるまちにも「空襲」による戦禍が及ぶようになりました。



このパンフレットの案内役  
の語り手はな子です。  
よろしくね！



東京を代表する繁華街・新宿にほど近い中野区にある成願寺。高層ビルが間近に迫るお寺の境内に防空壕が残されているよ。

防空壕とは、空から投下される爆弾や焼夷弾から身を守るために地中に作られた避難場所のことだよ。

みんなのまちにも、まだ戦争の備跡が残されているかもしれないよ。探してみよう！



境内の小山にある防空壕の入口。



防空壕の内部。土砂が崩れ始めたので10年前に補強されました。



お寺近くの民家にも当時の防空壕が残っていました。いまは物置として使われています。

防空壕の長さは約30メートル、真ん中には6畳間ほどの小部屋があります。昔はもっと部屋があり本堂や風呂、トイレも備えた本格的な設備だったそうです。お寺には幼稚園がありますが、いまでもイザという時には園児100人が3日は過ごせるように、水と食料(乾パン)の用意がされている現役の防空壕です。